

土成中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標 学力向上検討委員会構成

- 大志の実現に向けて自ら学ぶ生徒の育成
- 確かな学力を身につけるための分かる授業の実践

学力向上推進員 委員 校長:堀江豪人 教頭:十川道雄 教務主任:坂東大輔
 塩田直也 1年主任:塩田直也 2年主任:乾寛子 3年主任:桑村裕佳
 人権教育主事、生徒指導主事、道徳教育推進教師、
 研修主任、保健主事、特別支援教育コーディネーター
 学力向上学年担当:(1年)塩田直也、(2年)河野実輝、(3年)佐藤凌太

校長
堀江 豪人

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や試験結果の分析による到達度の見極め等から取組み状況を把握する

○次の(1)~(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|---|---|---|---------|----------|-------------|
| ○漢字や英単語の読み書き、計算などの基礎的な課題に対して意欲的に取り組める生徒が多い。 ●学力に二極化が見られる。苦手意識が強い生徒ほど学習意欲が低く、授業に集中して取り組むことに課題がある。 | ・読書をする習慣が身についている。 ・言語に対する関心や理解を深め、基礎的・基本的な知識や技能を身につけることができる。 ・家庭学習に自主的に取り組み、課題を確実に提出することができる。 | ・各教科で計画的、継続的に小テストを実施することで学習習慣を身につけさせる。 ・2分前着席を呼びかけて授業準備を促し、スムーズに授業に入るようにさせる。 ・「目標」と「振り返り」を毎回の授業で行い、生徒に身につけてほしい力を理解させた上で授業を展開する。 | | | |

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|--|--|---|---------|----------|-------------|
| ○自分の考えや思いを伝えたり、友達の意見をしっかりと聞こうとしたりする意欲のある生徒が多い。 ●相手の表現を理解して、自分の考えや思いを筋道を立てて表現することに課題がある。 | ・目的に応じて、根拠や理由を明らかにしながら、自分の考えを相手に分かりやすく表現することができる。 ・ペア活動やグループ活動を通して、友達の意見を取り入れながら課題を解決しようとする事ができる。 | ・自分の考えを筋道を立てて説明したり、文章に書いて表現したりする機会を学習活動の中で意図的に設ける。 ・質問の技カードを使用したり、ICTを活用したりしながら、話し合い活動を積極的に取り入れた授業を実施する。 | | | |

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|---|---|--|---------|----------|-------------|
| ○全体的に落ち着いて学習に取り組むことができる。しなければいけないことに取り組める生徒が多い。 ●集中して教師の話や話を聞くのが苦手な生徒がおり、指示を伝えるのに時間がかかるという課題がある。 | ・自らの課題に自ら気づき、目標を持って主体的に取り組むことができる。 ・相手の目を見て話を聞き、集中力を保ったまま授業を受けることができる。 ・工夫を凝らした家庭学習を進め、確かな学力をつけることができる。 | ・相手の目を見て話を聞くように徹底させ、教師が話しているときに集中して聞き、責任をもって自ら理解させるように促す。 ・将来の自己実現につなげるため、自主学習の大切さを伝え、家庭学習の充実を図る。 | | | |

令和6年度 学力向上ロードマップ

